

## 様式第3号(第12条関係)

## 会 議 録

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 会議の名称                   | 第3回吉川市産業振興会議   |
| 開催日時                    | 平成30年8月6日(月)<br>午前・午後 2時00分から<br>午前・午後 3時40分まで   |
| 開催場所                    | 吉川市役所 202会議室   |
| 出席委員(者)氏名               | <b>【産業振興会議委員】</b><br>近藤 旭、柏瀬 浩史、太田 久年、染谷 直志、田口 政博、<br>石田 宏記、山崎 守<br><b>【委員以外の出席者】</b><br>飯田 大輔(社会福祉法人福祉楽団 理事長)、中原 恵人(市長)、堀<br>川 昌昭(産業振興部副部長)、油川 誠(農政課課長補佐)、斎藤 歩<br>美(地域福祉課課長補佐)、相川 美佐子(市民参加推進課男女共同<br>参画・文化交流担当主査)、染谷 憲市(教育委員会教育総務課長)、<br>大滝 利和(環境課環境保全係長) |
| 欠席委員(者)氏名               | 鈴木 努、生田 貴之、程田 幸秀、蓮見 良平   |
| 担当課職員職氏名                | 産業振興部 商工課 課長 櫻井 敬雄<br>商工課 課長補佐 鈴木 康雄<br>商工課 商工観光係 係長 柴田 守彦<br>商工課 商工観光係 主任 小島 慎平   |
| 会議次第と会議の公開又は非公開の別       | ○第3回吉川市産業振興会議<br>1. 開会<br>2. 議題(公開)<br>(1) 産業振興計画について<br>(2) その他<br>3. 閉会  |
| 非公開の理由<br>(会議を非公開にした場合) |  |
| 傍聴者の数                   | 12人  |
| 会議資料の名称                 | 資料1 次第<br>資料2 吉川市産業振興計画案<br>資料3 産業振興に関する自由意見ヒアリング結果  |
| 会議録の作成方法                | <input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録<br><input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録<br><input type="checkbox"/> 要点記録   |

|          |            |
|----------|------------|
| 会議録確認指定者 | 石田 宏記、山崎 守 |
| その他の必要事項 |            |

| 審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等) |   |
|---------------------------|---|
| 中原市長                      | <p>○第3回吉川市産業振興会議</p> <p>1. 開会</p> <p>太田会長より、会議録確認指定者として石田委員、山崎委員を指名。各委員了承。</p> <p>2. 議事</p> <p>専門的知見から意見を伺うため、オブザーバーとして参加頂いた飯田様より、社会福祉法人福祉楽団の事業紹介（主に「恋する豚研究所」での養豚・精肉・加工・飲食事業）を通し、障がい者雇用の事例や経営の考え方、商品開発の事例等を紹介頂いた。</p> <p>働いている障がい者の生活支援や賃金等について教えてほしい。</p>  |
| 飯田様                       | <p>就労支援A型の事業で、平均賃金は約8万円。勤務時間の長短は人によるが、10万円を超える人もいる。生活相談も一緒に働く職員が受けている。住まいは実家暮らしの方が多いが、一人暮らしの方もいる。住まいの問題はさらに支援すべきと考えている。障がい者雇用については、通勤も課題。特定の場所に集まってもらってバスで送迎する等が必要。「恋する豚研究所」以外の特養等の全ての事業所で障がい者の雇用を組み込んでおり、幅広い仕事を担ってもらっている。人材不足の昨今、障がい者は重要な戦力である。向き不向きの個人差はあるが、写真付きのマニュアル等をしっかり整備すれば、十分に仕事ができる。一般的には、障がい者ができることをヒアリングして、それに合わせた仕事を作りがちであるが、それで成り立つほど経営は甘くない。事業の仕組みをしっかりと組み立てた中で、どの部分を誰に任</p> |

|      |  |
|------|--|
|      | <p>せることができるか、どうしたら任せることができるか、さらに能力を開発できるか、という方向で考えている。</p>   |
| 近藤委員 | <p>商品の販売会社は株式会社として別に作っていると聞いた。ここでも障がい者を雇用しているのか。</p>   |
| 飯田様  | <p>販売会社には担当を2名配置して帳合を行っているが、専従の社員はいない。社会福祉法人からの伝票発行は障がい者が作業している例も多い。</p>   |
| 近藤委員 | <p>ブランド戦略は社会福祉法人内で立てているのか。</p>   |
| 飯田様  | <p>社会福祉法人内の理事会等で議論して戦略を立てている。前述の通り、販売会社は事務作業のみしかしていない。戦略を考えるに当たっては、スーパーの精肉売場等の調査をしている。ハム等の加工品のパッケージは楷書体等の男性的なイメージが強く、バイヤーも男性。一方、来店客の9割は女性である。その中で、訴求対象となる女性の像を考えていった。「恋する豚研究所」の名前も訴求対象を元に決めた。</p> <p>なお、売り上げのほとんどは大手食品会社を相手としたB to B取引であり、地道な営業で販路を切り開いていった。十分な販路ができるまで5年はかかる。やっと収益の目途がついたという段階。6次化産業の難しさはここにある。億単位の設備投資が必要な上、回収までの時間がかかり、その間の運転資金も考えなければならない。</p> |
| 山崎委員 | <p>併設したレストランの規模はどのように考えて作ったのか。</p>   |
| 飯田様  | <p>昼食を想定したものだったので規模は大きくしなかった。思った以上に売り上げが伸びたのは嬉しい誤算。</p>  |
| 中原市長 | <p>レストランでは障がい者も働いているのか。</p>  |

|      |  |
|------|--|
| 飯田様  | 働いている。入口のドアマン、フロアでお冷を注いだり、食器を下げたり等。営業時間の前後は掃除をしたり、工場で働いてもらったりしている。   |
| 柏瀬委員 | 障がい者の勤務時間はどのくらいなのか。また、工場の勤務時間は。  |
| 飯田様  | 障がい者の勤務時間は人それぞれとしか言えない。工場は、7時から17時、原則2交代勤務としている。   |
| 中原市長 | 従業員の障がいの程度は。特に精神障がいを持つ人は就労が難しいと聞く。   |
| 飯田様  | 障がいの区分や程度でどういった仕事ができるかという区分けは難しい。最低賃金に達する仕事ができるかという点が雇用のポイントとなるが、障がい区分では表せない生活のしづらさを抱えている方もいらっしゃる。障がい者雇用と括らずに、生活に課題を抱えている人、といった幅の広い就労支援が必要と考えている。工賃だけにとらわれることなく、社会的意義のある、社会に参画できる仕事を準備したい。なお、精神障がいを持つ方だからといって特段難しいと感じたことはない。 |
| 太田会長 | 飯田様につきましては、この後、所用があるとのことで、ここでご退席となります。大変貴重なお話、ありがとうございました。   |
| 全員   | (拍手)   |
| 太田会長 | では、議題1「産業振興計画」について、事務局より説明願う。<br><br>～ 資料2「産業振興計画(案)」について、前回会議の意見を受けて  |

|      |   |
|------|---|
|      | <p>修正した点を説明。資料3について、市内団体ヒアリングで新しく出てきた意見を紹介、いずれも計画(案)でカバーされている内容であることを説明～</p>  |
| 太田会長 | <p>市内団体ヒアリングで、「子育てネットワーク」さんから積極的な意見を頂いている。計画への反映は不要か。女性活躍、ワークライフバランス推進等に含まれているということでよいだろうか。</p>                       |
| 事務局  | <p>計画の大枠としては今の設定のままでよいと考える。個別計画を考える段階で改めて意見交換等を行わせて頂き、具体的な事業に落とし込みたい。頂いたご意見は、女性活躍のみならず、家庭での子どもの教育等にもつながる重要な見地である。</p> |
| 中原市長 | <p>個別に機会を作り、こちらから議論をお願いしてもよいと思う。</p>  |
| 太田会長 | <p>計画案についてどうだろうか。</p>   |
| 中原市長 | <p>統計データ等が追加されているが、必須のものなのだろうか。</p>   |
| 事務局  | <p>条例および計画を作る上で、現状認識として統計等を見てきた経緯がある。こういったデータを元にして問題点を捉え、議論し、課題を解決するために条例や計画に繋げていったということで、計画案に追加させて頂いた。</p>           |
| 太田会長 | <p>これがこのまま冊子になって配布されるのだろうか。</p>   |
| 山崎委員 | <p>概要版等、わかりやすくする必要はあると考える。</p>  |
| 太田会長 | <p>今回で今年度最後の会議となるが、前回までに出た修正が反映されているということでよいだろうか。計画について意見はないだろう</p>   |

